

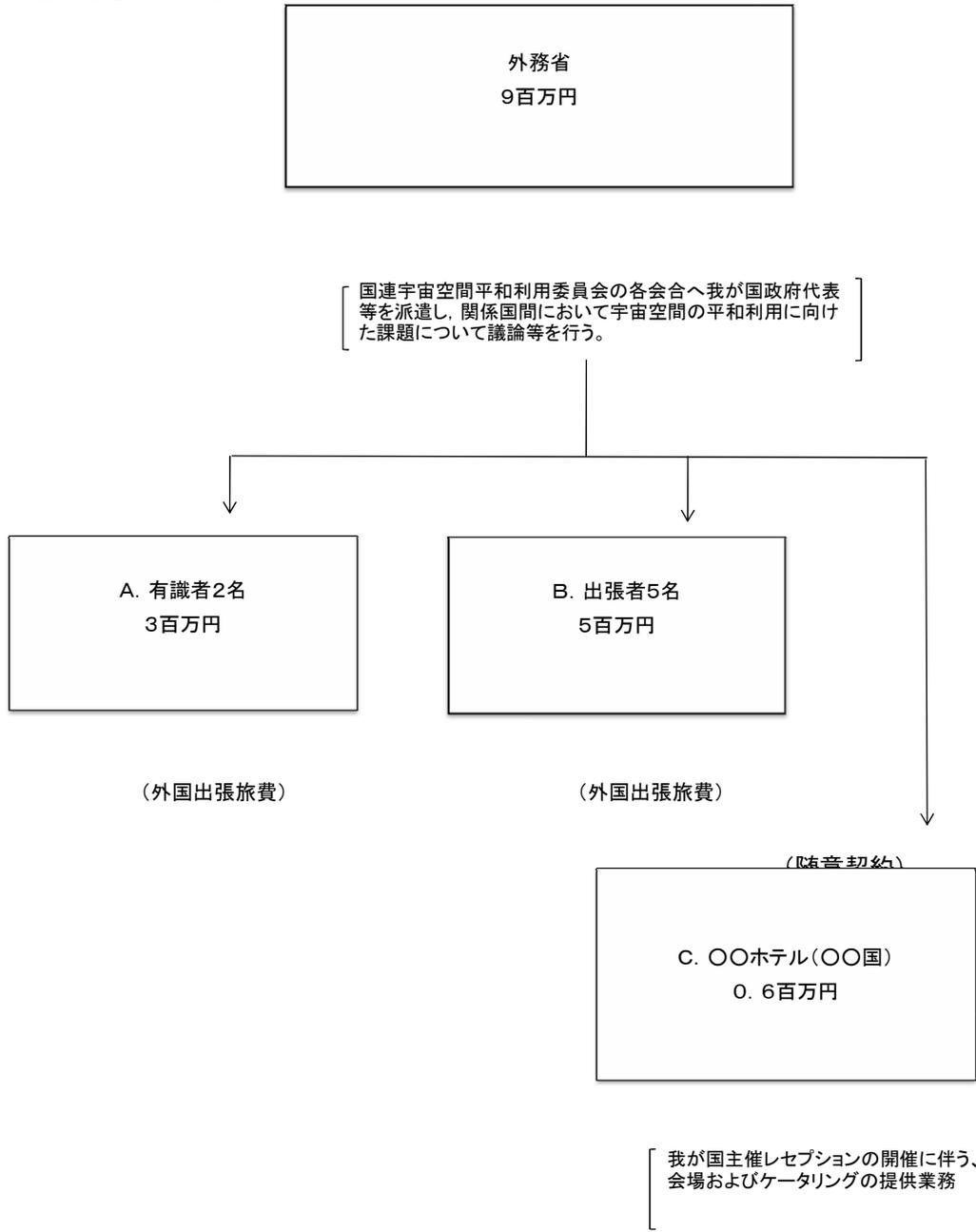
平成25年行政事業レビューシート (外務省)								
事業名	国際連合宇宙空間平和利用委員会 (COPUOS)		担当部局庁	総合外交政策局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成26年度開始		担当課室	宇宙室		室長 西永 知史		
会計区分	一般会計		政策・施策名	基本目標Ⅱ：分野別外交費 Ⅱ-1-5 宇宙に関する取組の強化				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条第1項二		関係する計画、通知等	宇宙基本計画(平成25年1月25日宇宙開発戦略本部決定)、 日本再生戦略(平成24年7月31日閣議決定)等				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国連宇宙空間平和利用委員会(COPUOS)は、本委員会、法律小委員会及び科学技術小委員会から構成され、宇宙空間の平和利用に向けた課題について審議し、国連総会への報告書を作成する場である。また、作成された報告書に基づき、国連総会第4委員会(特別政治問題と非植民地化)において、宇宙空間の平和的利用に関する決議案が審議・採択される。我が国としてこれらの議論に積極的に参加・貢献する必要がある。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	平成24年6月からCOPUOS本委員会議長を務めている堀川康(独)宇宙航空研究開発機構(JAXA)技術参与は、平成26年6月予定の本委員会冒頭に任期満了のため議長職を退く予定であるが、慣行として、その後2年間は前議長として新議長団をサポートするためにもCOPUOS三委員会に出席する必要がある。平成26年度は、堀川JAXA技術参与及び宇宙室長を上記三委員会に、宇宙室担当者を国連総会にそれぞれ派遣する。また、議長離任レセプションを開催する。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
		当初予算	—	—	—	9		
		補正予算	—	—	—	—		
		繰越し等	—	—	—	—		
	計	—	—	—	—	9		
	執行額	—	—	—	—	—		
執行率(%)	—	—	—	—	—			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値(26年度)	
	堀川JAXA技術参与及び宇宙室長を国連宇宙空間平和利用委員会(COPUOS)本委員会、法律小委員会及び科学技術小委員会に、宇宙室担当者を国連総会にそれぞれ派遣し、議論に参加せしめ、議論の結果に対して我が国の意見を反映させる。	成果実績	国	—	—	—	20	
		達成度	%					
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	26年度活動見込	
	本件委員会等への出席回数/年		活動実績 (当初見込み)	回	—	—	—	—
単位当たりコスト	2,160(千円/1回)		算出根拠	8,642千円/委員会等出席数(4回))				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	旅費	—	5					
	旅費(専門家派遣)	—	3					
	レセプション開催費	—	0.6					
	計	—	9					

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	国連の場における宇宙空間の平和利用に向けた議論は、すべての国民がその便益を享受するものであり、また、国が参加すべきである事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	最もコストの低い支出先を選定するなど、必要最小限のコストとなるよう努める。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		—	新規事業であるので、活動実績・成果実績はない。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		—			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		—			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	国連宇宙空間平和利用委員会(COPUOS)への堀川JAXA技術参与の派遣、外務省職員の派遣、堀川技術参与の議長離任レセプションを通じて、宇宙空間の平和的利用に関する議論に参加し、我が国の宇宙政策にも資することが大いに期待される。					
外部有識者の所見						
—						
行政事業レビュー推進チームの所見						
適切かつ効率的な事業実施に努める。						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
—						
備考						
—						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	—	平成23年	—	平成24年	—

個別事業名:国際連合宇宙空間平和利用委員会(COPUOS)

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
しているかについて補足する)  
(単位:百万円)



平成25年行政事業レビューシート (外務省)

事業名	宇宙関連ワークショップ開催	担当部局庁	総合外交政策局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成26年度開始	担当課室	宇宙室	室長 西永 知史			
会計区分	一般会計	政策・施策名	基本目標Ⅱ：分野別外交費 Ⅱ-1-5 宇宙に関する取組の強化				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	外務省設置法第4条第1項ニ	関係する計画、 通知等	宇宙基本計画(平成25年1月25日宇宙開発戦略本部決定)、 日本再生戦略(平成24年7月31日閣議決定)等				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	宇宙ゴミ等により宇宙環境の悪化が進んでおり、宇宙環境の保全や宇宙活動の安全性を確保するための取り組みが急務であるとともに、技術の進歩により、安全保障分野での宇宙利用が広まっているところ、関係国間において宇宙の長期的持続可能性とスペース・セキュリティの重要性につき共通認識を深める。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	アジア大洋州地域の宇宙先進国および宇宙新興国が集うワークショップを東京において開催する。具体的には、海外の専門家を招き、各国が直面している課題等の発表、参加国の間での宇宙に関する協力についての議論等を行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・ 執行額 (単位:百万円)		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	—	—	—	—	2
		補正予算	—	—	—	—	
		繰越し等	—	—	—	—	
		計	—	—	—	—	2
	執行額	—	—	—	—		
執行率(%)	—	—	—	—			
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (26年度)
	ワークショップ参加国数	成果実績	国	—	—	—	20
		達成度	%				
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	ワークショップ開催数/年	活動実績 (当初見込み)	回	—	—	—	—
					( )	( )	( 1 )
単位当たり コスト	1,597(千円/1回)	算出根拠	ワークショップ開催経費(1,597千円/ワークショップ開催数(1回))				
平成 25 ・ 26 年度 予算 内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	専門家招へい費	—	1				
	ワークショップ開催経費	—	0.6				
計	—	2					

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	宇宙環境の保全や宇宙活動の安全性の確保は、すべての国民がその便益を享受するものであり、国が実施すべき事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	本件ワークショップに要する経費は、発表を行う専門家の参加旅費や最小限の会議経費に限定されている。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		—	新規事業であるので、活動実績・成果実績はない。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		—			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		—			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	本件ワークショップの開催を通じて、参加国間の間で幅広い議論を行うことにより、直面する共通の課題に関する認識の統一を図るとともに一層の相互理解、相互信頼を強化することが大いに期待できる。					
外部有識者の所見						
—						
行政事業レビュー推進チームの所見						
適切かつ効率的な事業実施に努める。						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
—						
備考						
—						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	—	平成23年	—	平成24年	—

個別事業名:宇宙関連ワークショップ開催

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

外務省  
2百万円

アジア大洋州地域の宇宙先進国及び宇宙新興国が集う  
ワークショップを東京において開催する。

A. 株式会社〇〇  
2百万円

競争入札)

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位:百万円)

ワークショップ開催運営業務ならびに招へい者の航空券、宿舎、配車等の手配